

秋の剪定講習会を開催しました。

11月5日（火）足立区役所・中央公園

11月12日（火）花畑地域学習センター・陣川戸公園

岩田造園土木（株）の岸本氏を講師に2会場で実施しました。

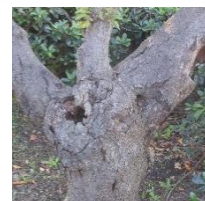


前半は、テキストなどを使って剪定の基礎を学びました。樹種によって剪定の適期があるので、確認してから剪定しましょう。生垣は、できれば年2回刈り込むと、葉が密に茂ってきれいな生垣になるそうです。

正しい位置で丁寧に枝を切り落とせば枝の付け根にある保護帯が切り口をきれいに巻き込み、木が傷むのを防ぎます。特に大きな枝を切り落とす際は切り方や切る場所に注意しましょう。



枝を使って剪定の仕方を講義している様子



保護がうまくいかず傷んでいる木



切り口がきれいに保護されている木

後半は、近くの公園で実習をしました。まず公園の樹木を見ながら、剪定の良い例・悪い例を確認しました。その後、2班に分かれ、職人さんから剪定バサミ・刈込バサミ・電動バリカンの使い方を教わりました。中央公園では、コニファーの剪定とヤゴ（樹木の根元にはえる不要な枝）の刈り取り、陣川戸公園では、シャリンバイとツツジの剪定を体験しました。

両日とも晴天に恵まれ、汗をかきながらも楽しそうに作業されていました。



↑コニファーの剪定(中央公園)



↑シャリンバイの剪定(陣川戸公園)



↑ヤゴの刈り取り(中央公園)



↑大木の剪定(陣川戸公園)

剪定講習会は、春（5月予定）にも同様の内容で開催する予定です。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

